

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 30 年 6 月東北分
 (東北 6 県)」について

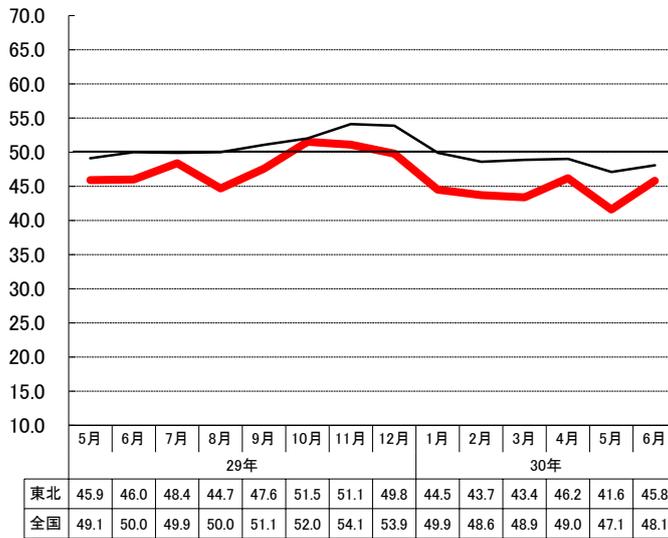
公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 30 年 6 月東北分（東北 6 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断 DI は「45. 8」と 2 ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+4.2ポイントと大幅に上回った。

現状判断DIの推移

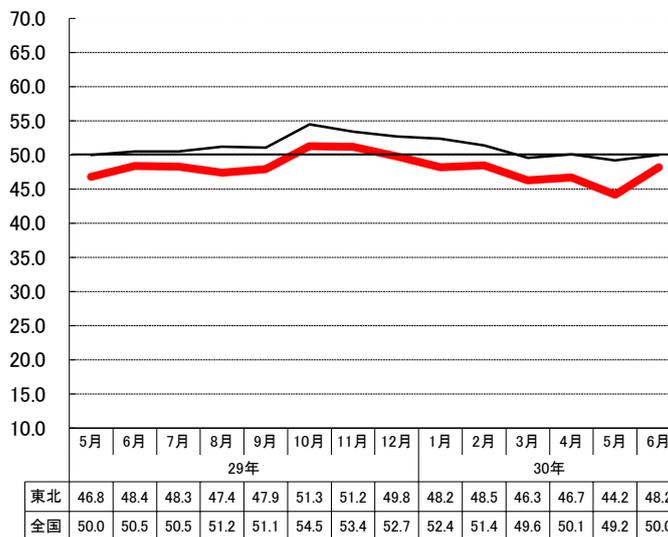


— 東北 — 全国

(2) 先行き判断（2～3ヶ月前の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断 DI は「48. 2」と 2 ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+4.0ポイントと大幅に上回った。

先行き判断DIの推移

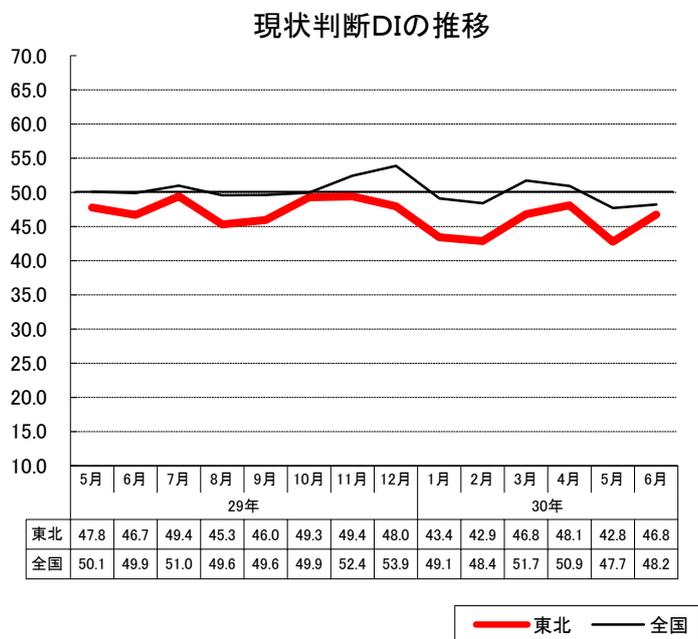


— 東北 — 全国

2. 原数値

(1) 現状判断 (3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「46.8」と2ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+4.0ポイントと大幅に上回った。



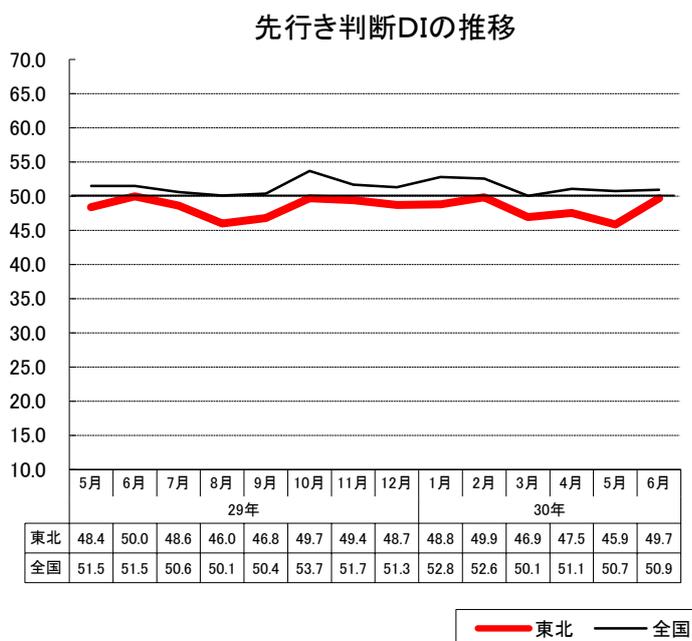
○家計動向…旅行代理店、住関連専門店の業種でDIが前月を下回ったが、高級レストラン、タクシー、スーパー等の業種でDIが前月を上回った。DIは「46.3」(+6.2)と2ヶ月ぶりに前月を上回った。

○企業動向…コピーサービス、その他サービス、通信等の業種でDIが前月を上回ったが、建設、金属製品製造、電気機械器具製造等の業種でDIが前月を下回った。DIは「44.4」(▲0.9)と2ヶ月連続で前月を下回った。

○雇用動向…DIは「54.2」(+0.3)と2ヶ月連続で前月を上回った。

(2) 先行き判断 (2~3ヶ月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「49.7」と2ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+3.8ポイントとやや上回った。



○家計動向…商店街、観光名所・遊園地、住関連専門店等の業種でDIが前月を下回ったが、その他サービス(ショッピングセンター)・住宅関連(リフォーム)・その他小売店(専門店)等の業種でDIが前月を上回った。DIは「50.2」(+6.3)と4ヶ月ぶりに前月を上回った。

○企業動向…金属製品製造、その他非製造業、金融等の業種でDIが前月を下回ったが、建設、その他非製造業、家具及び木材木製品等の業種でDIが前月を上回った。DIは「47.2」(+0.6)と2ヶ月ぶりに前月を上回った。

○雇用動向…DIは「51.4」(▲5.2)と、3ヶ月ぶりに前月を下回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	29年								30年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
東北現状	47.8	46.7	49.4	45.3	46.0	49.3	49.4	48.0	43.4	42.9	46.8	48.1	42.8	46.8
家計動向関連	47.0	45.5	49.1	44.4	46.8	48.5	48.5	46.4	42.0	40.9	45.7	47.4	40.1	46.3
企業動向関連	50.7	44.6	48.6	44.7	45.3	50.0	50.0	48.0	41.7	45.1	46.6	49.3	45.3	44.4
雇用関連(参考)	47.5	57.5	52.5	51.3	42.5	52.5	53.8	57.9	55.0	50.0	53.9	50.0	53.9	54.2

（2）先行き判断D I

	29年								30年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
東北先行き	48.4	50.0	48.6	46.0	46.8	49.7	49.4	48.7	48.8	49.9	46.9	47.5	45.9	49.7
家計動向関連	50.0	50.0	48.1	45.9	45.7	48.9	48.2	47.2	48.9	50.9	46.8	46.8	43.9	50.2
企業動向関連	44.6	48.0	47.3	45.4	49.3	50.0	48.7	50.0	45.1	45.8	45.9	47.9	46.6	47.2
雇用関連(参考)	46.3	53.8	53.8	47.5	48.8	53.8	57.5	55.3	55.0	51.3	50.0	51.3	56.6	51.4

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 30 年 6 月 25 日～30 日

回答者数 170/189 名、回答率 89.9%(全国 1,828/2,050 名、89.2%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：伊藤 好春）
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（コンビニ）…今月は天候に恵まれて来客数が増加している。競合店の影響はあるものの、単価が前年を上回ったことで、売上の前年比も下げ止まっている。特に週末の天候が良く、売上を大きく伸ばすことができている。

（都市型ホテル）…各種団体の総会及び懇親会は、今年も例年どおりの受注量となっている。その他にも周年パーティーなどの単発の受注もあり、宴会部門はプラスとなっている。ただし、レストラン関係は個室利用が少なくなってきたため、不安材料となっている。

（観光名所）…団体客とインバウンド客は前年並みで推移している。また、予約以外の来客数が増えており、売上の増加につながっている。

（新聞社〔求人広告〕）…大手企業の進出や工場増設が相次いでおり、ものづくり産業の即戦力となる人材確保が激しくなっている。

（職業安定所）…求人数が増加しているだけではなく、募集条件も向上している。

○「変わらない」

（商店街）…6月は大型イベントがめじろ押しで街なかはにぎわったものの、商店街の売上アップにはつながっていない。

（寝具販売店）…今月はギフト類が動いたが、それ以外の二次製品はほとんど動いていない。利益の大きい布団の仕立てがなかったため、相変わらず厳しい状況が続いている。

（百貨店）…気温の上昇で夏物商材に動きがみられるほか、自社の売上施策により業績も持ち直している。ただし、基本的には購入単価、購入点数に大きな変化はなく、景気の回復は実感できていない。

（スーパー）…購入点数は前年並みで推移しているものの、来客数及び1品平均単価は前年割れが続いているなど、厳しい状況が続いている。

（衣料品専門店）…暑さが前倒しになっている分、夏物商材の動きは順調であるが、梅雨時期特有のレインウェアなどの単価が稼げる羽織物の動きが鈍く、全体的には変わらない状態である。

（家電量販店）…サッカーワールドカップの影響もあり、テレビなどの映像商材は前年をやや上回っている。また、6月後半からの暑さにより、エアコン、扇風機などの販売量は前年比120%の伸びをみせている。

（乗用車販売店）…話題の新商品が発表となり、客の動きが活発になってきている。しかし、依然として既存車の動きは鈍く、足元の景気は不安定である。

（一般レストラン）…後半にある程度持ち直したものの、月の前半の動きが非常に悪く、全体としてはやや悪い状態である。同業他社においても、月前半の動きが悪かったために潰れる店が出るのではないかとの話もある。変わらないと答えたものの、前半の悪さを後半でカバーするのは一苦勞である。

（観光型旅館）…予約の状況は前月同様に間際での申込みが多い。そのため、先行販売を行ってもなかなか売り切ることができない。

（旅行代理店）…景気の動きに変化がなく横ばいのままである。特に販売量は前年と比較して全く同様の動きをしており、景気は良くもないが悪くもないという状況で推移している。

（通信会社）…4Kテレビ購入者が増えているにもかかわらず、有料テレビサービスの加入には結び付いていない。インターネットの新規申込者数も頭打ちであり、競合他社との間で客の奪い合いだけが続いている。

（住宅販売会社）…依然として少額予算の客が多い。また、契約まで時間を要している。

（リフォーム業）…増改築と塗装工事が前年並みまで回復している。

(食料品製造業) …前年は地元で大きな祭があったため、土産物がよく動いていた。今年はそのようなものがなく、マイナス要因となっている。また、お中元がスタートしているが、動きは余り良くない。

(金融業) …設備投資が緩やかに増加している一方、住宅投資は弱含んでいる。また、公共投資は底堅く、輸出、輸入は持ち直し基調にある。雇用動向は着実に改善しているものの、一部業種では人手不足に関してかなりの危機感をもっている。

(経営コンサルタント) …企業は早めのバーゲンセールや一部商品の値下げにより消費喚起に努めているが、その効果は出ていない。

(人材派遣会社) …6月は来春の大卒採用における内定出しのピークである。しかし、予定よりも多くの内定を出したにもかかわらず、内定辞退者が続出して、結果的に当初の予定数を下回っている企業が多い。ただし、複数の内定をもらっている学生が多いということは、その分景気が良いといえるのではないかと。

○「やや悪くなっている」

(住関連専門店) …販売量の動きも鈍いが、更に客は単価の低い商品しか購入しない。客の財布のひもの固さを実感している。

(ガソリンスタンド) …ガソリン価格の高騰により、定量、定額の給油が増えているため、大幅な販売量の減少となっている。また、燃料代の増加に伴い、洗車やメンテナンスを控える客が増えている。

(美容室) …急に暑くなってきたことで、客の出足が鈍くなってきている。

(木材木製品製造業) …需要が落ち込んでいるため取引先は在庫を抱えており、当社も販売に苦戦している。本来であれば、仕入コスト増加分を価格に転嫁したいが、取引先と交渉できる環境ではなくなっており、逆に値下げの圧力が強まっている。

(出版・印刷・同関連産業) …情報誌を扱っているが、飲食店や美容室などの広告掲載が非常に落ち込んでいる。

(窯業・土石製品製造業) …地域間格差はあるものの、東北全体として生コンの出荷量が減少している。

(建設業) …競争入札案件の結果が出ていないため、3か月前と比較すると受注量が減少傾向になっている。

(広告代理店) …広告費を抑える傾向が強く、イベントや印刷物件の作成中止などが相次いでいる。

○「悪くなっている」

(飲食料品卸売業) …得意先の在庫が増加しているなど、消費が鈍っている様子がうかがえる。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(ショッピングセンター) …ゴールデンウィーク以降、来客数、販売量共に上向きになっている。天候に左右されるアパレルもあるが、全体的に駅周辺を中心に活性化の動きがみられている。

○「やや良くなる」

(酒類販売店) …1年で最も酒類が動く時期のため、販売量の増加を期待している。ただし、天候の影響を最も受けるのもこの時期であり、常に動向を注視する必要があるため、余裕は一切ない。

(衣料品専門店) …前年は8月下旬まで天候不順が続き、夏物需要が全く動かなかった。今年の夏は暑くなるという予報のため、夏物需要の伸びに期待している。

(乗用車販売店) …月末以降、新型車発表会が続くため、来客数の増加が期待できる。また、競合各社も攻勢を強めてくるとみており、景気は若干上向くとみている。

(一般レストラン) …夏のボーナスが増えていると聞いているため、期待をしている。

(旅行代理店) …北朝鮮問題が落ち着きをみせており、サッカーワールドカップでも日本の快進撃が続いているため、この影響で消費に盛り上がりが見られ、海外旅行が増えることを期待している。また、夏休みについては、この先の予約に期待がもてそうな動きが出ている。

(建設業) …官庁の発注見通しでは、夏頃にかけて大型の公共工事などの発注が進捗する見込みであり、受注業者の拡大による景気の上向きが期待できる。

(人材派遣会社) …現状の利益改善の傾向は、今後2～3か月にわたって続くとみている。

○「変わらない」

(百貨店) …夏のボーナス商戦やそれ以降の消費の活性化に期待をしているが、現在の消費動向が急激に変化するとは考えにくく、様々な消費喚起の施策を打っていく予定である。

(スーパー) …この先も消費を刺激するような要因が見当たらない。そのため、消費の動きは依然として同じ傾向が続くとみている。

(家電量販店) …白物家電は、安い海外メーカーの商品が売れている。ガソリン価格の高騰などの影響により、客の財布のひもが固くなっているのではないかと。テレビなどは有機ELなどの画質の良い商品が売れているものの、単価は徐々に下がりつつあるため、景気向上は余り期待できない。

(食料品製造業) …業界大手が秋口より製品価格の値上げを発表している。原価上昇に対して、どのように対処するかが大きな問題である。

(通信業) …政策によるてこ入れがないと中小企業は好転しない。

(飲食料品卸売業) …メーカーの値上げが先行しているが、実際の販売価格は上がっておらず、デフレ傾向がますます進むのではないかと。先行きの景気が良くなるような見通しが無い。

(職業安定所) …新規求人数の前年同月比は1.6%の微増である。新規求人倍率は前年同月を下回ったものの、求職者の一時的な増加によるものである。また、今のところ大規模な企業の創業の動きもない。

○「やや悪くなる」

(コンビニ) …人口減少の影響は大きいですが、その他にも購入点数や購入頻度の低下、衝動買いの減少など、景気が下向きになってきているように見受けられる。

(出版・印刷・同関連産業) …2～3か月先の受注残高は約10%落ち込んでいる。日本銀行のマイナス金利政策の影響により、各金融機関は経費圧縮のため印刷物を少なくしている。

(輸送業) …現時点で大きな動きはないものの、燃油費の高止まり、働き方改革による長時間労働の抑制に向かつて、様々な対策への経費増加が見込まれている。

(コピーサービス業) …物流コストの値上げ要請が出てきている。ゆうパックの値上げや、委託している配送費の値上げなど、販売価格に転嫁できるか不透明である。

(新聞社〔求人広告〕) …求人告知の媒体が、新聞や雑誌から、急速にWeb系のデジタル媒体に変わってきている。そのため、デジタル対応が遅れている中小企業は、ますます求人が出しにくくなっており、大企業との格差が広がっている。この傾向は今後も続くとみており、地元経済への影響は必至である。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上